

提案 「金沢・巡礼の散歩道」と「金沢共通チケット」

京都では哲学の道、鎌倉では北鎌倉の寺社を巡るコースが有名ですが、いずれも金沢出身の哲学者である西田幾多郎と鈴木大拙が関わっている事をご存知ですか？

彼らが少年時代、学生時代を過ごした金沢で、彼らが散策したであろう、金沢城周辺の不思議な建物や歴史遺構、熊も住んでいた森こそ、彼らの哲学的、仏教・禅的思想の起源となつたのではないのでしょうか？ 彼らが育ち、その結果として、まるびい（金沢21世紀美術館）を始めとする鈴木大拙館等の世界中の人々を惹きつける建築群を金沢に出現させる事になつたのでは？

そこで、彼らが少年、学生時代散策したであろうコースを「金沢・巡礼の散歩道」として登場させる事としました。竜宮城のような尾山神社神門から、玉泉院丸庭園に落ちている滝の水源、百万石に隠された百姓の治めた極楽浄土の国の謎、奥の細道で松尾芭蕉が金沢を訪れて…等、金沢城付近の不思議なスポットを巡る約2時間の「金沢・巡礼の散歩道 ～まるびいご近所めぐり～」を提案します。一緒に歩きませんか。

出発地点はまるびい、まず見学を、でもここに問題が？ 新幹線が金沢まで開業して以来、多くの観光客が世界中から金沢に集まっています。とくにまるびいは入場するのに連休等は約1時間近く待たされる有様。そこで思い出したのが以前パリで利用した、美術館と公共交通（地下鉄・バス）を一体化したパス「カルト・ミュゼ」その時は一日券の利用でしたが、一週間程度のパスもあったように思います。案の定ループル美術館はチケットをかうのに長い行列が、しかしそのカードでそのまま行列に並ばなくても入場できました。

金沢でも一部の施設で共通券が発行されていますが、何故か県の施設だけ、とか限定されています。兼六園や金沢城、赤レンガミュージアム（石川県立歴史博物館・加賀本多博物館）は県、まるびい（金沢21世紀美術館）や鈴木大拙館は市、このへんで対抗意識を捨てて金沢市内のすべての施設の共通チケットをつくりませんか？それに市内バスの共通パスを機能させてば完璧です。この「金沢・巡礼の散歩道」でも利用出来ると便利ですね。

さあ、まるびいは後回しで出発です。